



公開講座レター

No.6



今年度から、公開講座の取り組みを広く知っていただくため、実施した公開講座の様子や、参加者の声をお届けする「公開講座レター」を発行しています。

今回は、10月から11月にかけて実施された公開講座「日常生活と心理学との接点：社会と行動編」と「考古学の世界」の様子をお届けします。

講座名 「日常生活と心理学との接点：社会と行動編」

開催日 10月25日、11月1日、8日 （昼間開講）14：00～15：30
（夜間開講）18：30～20：00

講師 地域創造支援センター 准教授 木暮 照正

講座の概要

一般的な心理学の内容に加え、その心理学が日常生活とどのような関わりがあるのか、具体的な例も交えて解説いただきました。また、講義の中には「ダマされ度チェック」なども含まれており、普段の自分自身を振り返ってチェックをしたところ、自分では気づかなかった意外な結果となった、という方もいたようです。

各回の内容

10/25 「他者を理解する」 他者を「知覚」する（社会的認知）、固定的な見方等について

11/1 「他者とのコミュニケーションについて」 コミュニケーションの種類と機能について

11/8 「集団内における行動について」 集団の条件・種類、集団の影響など

参加者の声

・普通に生活している中で感じていることを学べたためになりました。色々なところで心理が働いていることが分かりました。

・心理学に取り組んだことが殆どなかった。パーソナリティー心理学のようなものばかりイメージとして持っていたので、社会心理学というところが新鮮だった。自分の日常生活の仕方や考え方を客観視することに生かしたい。

・前回の「知覚と記憶」に引き続き参加しました。今回は実践的なことが多く、興味深く受講しました。

・たぶん学生時代を含めて初めて心理学について勉強したように思います。例えば、日々の行動、思考の中で無意識のうちにやっていることにも、メリット、デメリットがあり、改めてそういったものを意識することにより公平なものが見方が出来るということ等々、色々参考になりました。

・ダマされ度チェック、点数が高く出ました…。今後の生活に役立ってます。

講座の様子



講座名

考古学の世界

開催日

11月15日、22日、29日（木） 18:30~20:00

講師

行政政策学類 教授 菊地 芳朗

講座の概要

「考古学とはどんな学問なのか」というお話から実際に行われた発掘調査の様子まで、初心者にとってもわかりやすく解説いただきました。福島県に住んでいても県内にどのような古墳があるのかを知る機会はありませんため、東北でも珍しい古墳が身近にあることを初めて知った、との声も挙がりました。

各回の内容

11/15 「考古学とはどんな学問か」

考古学とはどんな学問で、どんなことをするのか？屋内活動と屋外活動について詳しく紹介。

11/22 「古墳を発掘する 会津大塚山古墳」

古墳時代の定義や古墳の種類について解説。また、会津大塚山古墳について、古墳の概要や副葬品、そこから導き出した被葬者や古墳が作られた時代を解説。

11/29 「古墳を発掘する 本宮市庚申壇古墳」

本宮市庚申壇古墳について。福島大学による調査（きっかけや測量調査、発掘調査等）の様子を写真とともに解説。

講座の様子



参加者の声

- ・楽しく受講できました。説明も丁寧で分かりやすいものでした。中学生時代を思い出しました。
- ・とても参考になりました。ますます興味を持ちました。調査が中断しているのが残念です。
- ・考古学という言葉だけではない意味を知って良かったです。今回の学習で益々古墳に興味を持ちました。
- ・とても理解しやすく、興味深いものでした。これからも

続けてほしいと思います。ありがとうございました。

- ・大変面白かったので、次回も希望します。
- ・以前、白河まほろんボランティアをやっておりましたが、なお、学問的に深く知ることができ、よかったです。さらに関心を持ち続けていこうと思っています。

作成：地域連携課
2013年3月